

【資料】 令和4年度 教育委員会委員活動状況について

(1) 教育委員会の会議回数等

年	月	月日	議案	協議事項	報告事項
令和4年	4	R4.4.25	0	0	1
	5	R4.5.24	3	1	1
	6	R4.6.27	1	0	1
	7	R4.7.27	2	2	1
	8	R4.8.24	2	0	2
	9	R4.9.30	0	0	1
	11	R4.11.4	0	1	1
	12	R4.12.1	3	1	1
	12	R4.12.26	0	1	1
令和5年	1	R5.1.19	1	0	2
	2	R5.2.20	23	0	1
	3	R5.3.29	0	0	2
計(12回)			35	6	15

(次回教育委員会日程は除く)

(2) 令和4年度 教育委員の学校園等訪問 <13日間、15箇所>

(小・中学校8、認定こども園4、子育て支援センター2、学校給食センター)

月日	午前
R4.7.1	照来小学校
R4.7.4	浜坂西小学校
R4.7.5	浜坂北小学校
R4.7.6	浜坂東小学校
R4.7.7	夢が丘中学校
R4.7.11	浜坂南小学校
R4.7.12	温泉小学校(給食)
R4.7.15	浜坂中学校
R4.10.11	明星認定こども園
R4.10.14	大庭認定こども園
R4.10.17	浜坂子育て支援センター、学校給食センター
R4.10.19	ゆめっこ認定こども園、温泉子育て支援センター
R4.10.20	浜坂認定こども園

(3) その他活動

	月日	内容	場所	出席人数
町外事業	R4.7.8	但馬連合会総会・研修会	朝来市	5名
町外事業	R4.5.19	兵庫県教育委員会連合会総会・研修会	猪名川町	5名
町内事業	R4.8.18~19	全県夏季教育委員会研修会	オンライン	5名
町内事業	R4.11.1	近畿市町村教育委員会研修大会	オンライン	5名

	月日	内容	場所
町内行事	R4.4.1	教職員辞令交付式	浜坂多目的集会施設
	R4.4.	入学(園)式	各学校園
	R5.3.	卒業(園)式	各学校園

※ 任意参加行事: 運動会、オープンスクール、学習発表会、文化祭 等

令和4年度 社会教育施設・事業評価について

番号	施設名	事業評価概要	
1	加藤文太郎図書館	成果	加藤文太郎偉人マンガ作成の成果により、山岳資料室の利用は増となった。特別展示を工夫し、図書に興味を持ってもらうことができた。工夫した図書館イベントを実施することで幼児から高齢者の方に、より図書館を身近に感じてもらうことが出来た。「学校図書室の整備と活用講座」を開催したことにより、学校図書室の変化が見られ、児童が図書に出合う機会が増えた。
		課題	引き続き学校や温泉公民館図書室等と連携し、図書の環境整備を行っていく。小学校児童に図書館見学など体験をしてもらい身近に感じてもらう。ヤングアダルトや高齢者のための図書のPRを進める。幼児期から本と出合う機会を増やすため、イベントを工夫していく。
2	浜坂先人記念館	成果	・第1～2四半期は、町の歴史・文化を取り上げた企画展を開催した。また、第3～4四半期は、町民を対象とした書道・写真・絵画作品をテーマとした展示を中心に開催した。浜っ子アート展では、展示されてる保護者宛に案内状(無料入館券)で通知したことで昨年以上の入館者となった。また、9月～11月の団体客の利用によりコロナ前の入館者数に戻った。
		課題	・収蔵品展や企画展では、町民の入館者数が少なく、展示内容及び関連イベント等の開催を検討する必要がある。
3	八田コミュニティセンター	成果	貸館事業において、利用者数についてはコロナ以前の数には足りないものの、利用回数と併せて昨年度に引き続いて増加傾向にあり、コロナ禍の影響からは回復に向かっている。令和4年度は写真や絵画の作品展のほか、麒麟獅子舞や音楽のイベントなど多様な催し物の会場として地域の内外から利用していただいた。
		課題	展示室の利用について、前年度から入館者数等は増加の傾向にあるものの、いまだにコロナウイルス流行前の半分程度にとどまっている。感染防止のための規制が緩和されている現状の中で、以前のように観光客が訪れる施設とするためにも、他の施設と連携した情報発信や企画の立ち上げなど、早急に対策を取る必要がある。また、開館から25年以上経過する中で、魅力ある展示を行っていくためにも、既存の展示内容について改めて検討する必要がある。
4	社会体育施設	成果	※通常貸館事業では、コロナがある程度収束しつつも、さまざまな制限がある中、感染防止対策を徹底しながら前年度以上の施設利用を確保することできた。 ※町スポーツ協会指定管理
		課題	・コロナの5類化移行を踏まえながら、引き続き感染予防対策を取り、随時各種大会イベントを開催し、施設利用の普及と事業の推進を図る。 ・各施設ともに経年劣化等による老朽化が激しく、今後は体育施設の耐震補強も含め、計画的に大規模改修または改築を検討していく必要がある。 ・艇庫事業においては、学校教育や社会福祉、観光関係者と連携し、利用促進を図っていく。
5	町民センター図書室	成果	※通常図書貸出業務 新規登録 157冊 ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しながらの貸出しや学生の学習利用などにも配慮した。また新しい図書について、利用者にわかりやすいレイアウトを心がけ、利用者の求める本の相談に応じるなど、より利用しやすい図書室づくりを行い、少しずつ利用が増えてきている。
		課題	・新規図書購入について、加藤文太郎記念図書館と連携し図書の選定を行った。今後、利用者のニーズをさらにリサーチして小さな図書室らしい、利用のしやすい図書室づくりを行っていく必要がある。
6	文化体育館「夢ホール」	成果	・各種自主事業を開催し夢ホールをPRするとともに、新型コロナウイルス感染症対策に留意し、入場者の座席制限などに配慮しながら各種事業の推進を図った。 ・芸術文化観光専門職大学とオペレータークラブの交流・連携事業、またアナウンス講座などを計画的に実施し、若い世代がオペレーターへの興味・関心を抱く機会を提供し、オペレーター育成の充実を図った。
		課題	・新型コロナウイルス感染症の5類移行にともない、随時安全に配慮しながらより有益な芸術鑑賞の機会を提供していく必要がある。 ・町民がより夢ホールを身近に感じられるよう魅力的なイベントPRの実施、芸術文化観光専門職大学との連携事業の活性化、新たな参加客層(特に若者世代)獲得のために、SNSの積極的な活用などを継続して検討する必要がある。